

主催:日本カウンセリング学会 共催:日本カウンセリング学会神奈川県支部会  
認定カウンセラー養成カリキュラムによる

# 第116回

# 日本カウンセリング学会 神奈川県研修会

朝日と潮騒、そして温泉の三浦半島で、  
ゆっくりとカウンセリングを学びませんか？

日本カウンセリング学会は、2016年1月神奈川の三浦半島で研修会を開きます。  
カウンセリングは専門的な対人援助活動だけでなく、日頃の生活における人間や人間関係の  
理解にも役立ちます。この研修会は、学会員だけでなく一般の方も参加できますので、ぜひ一緒  
に学びましょう。

神奈川県研修会実行委員長 鈴木康明 / 事務局長 野村規雄

期日 1泊2日

会場 マホロバ・マインズ三浦

# 2016年1月10日(日)、11日(月・祝)

【マホロバ・マインズ三浦】

〒232-0101 神奈川県三浦市南下裏町上宮田3231 TEL:046-889-8900

＜アクセス＞ 京浜急行「三浦海岸駅」下車徒歩5分 「三浦海岸駅」は東海道新幹線停車駅の「品川駅」から約60分  
羽田空港からは京急線利用で約70分



# 講座情報

期日 2016年1月10日(日)、11日(月・祝) 1泊2日

講座 1月10日(日)9:30~11日(月・祝)16:30(15時間)

コース	講座名と養成カリキュラムにおける位置	定員	担当講師
I	家族カウンセリング A-カウンセリング心理学③	20名	水野修次郎 <sup>○*</sup> 立正大学教授
II	キャリアカウンセリング A-カウンセリング心理学③	20名	宮城 まり子 法政大学教授
III	グリーフカウンセリング A-カウンセリング心理学③	20名	鈴木 康明 <sup>○</sup> 東京福祉大学・大学院教授
IV	心身医学・精神医学アセスメント B-カウンセリング・アセスメント③	20名	飯田 俊穂 <sup>○</sup> 昭和大学(医学部)兼任講師
V	これからの支援教育 E-カウンセリング諸領域①	20名	青戸 泰子 <sup>○</sup> 関東学院大学教授

○認定カウンセラー ※認定カウンセラー会会長

日程	8:30-9:00 9:30		12:30-13:30		16:30	18:30-19:00		21:00
	第1日目 1/10(日)		受付	Session 1 (3時間)	昼食	Session 2 (5時間)	休憩	夕食& 懇親会
第2日目 1/11(月・祝)	朝食	Session 3 (4時間)		昼食	Session 4 (3時間) <sup>○</sup>	※研修成果の確認の筆記試験を含みません。		

**参加費** 学会員・学生 研修費20,000円、会場・宿泊費17,000円、計37,000円  
一般(社会人学生も含む) 研修費25,000円、会場・宿泊費17,000円、計42,000円

- ・会場・宿泊費は、朝食1回、昼食2回、夕食・懇親会費を含みます。
- ・参加は宿泊を原則としますので、それ以外の場合はお申し出下さい。参加費が異なります。
- ・前泊希望者はお申し出下さい。
- ・マンション形式の宿泊施設で相部屋です。リビングルームやキッチンなど自由に使えます。天然温泉大浴場など施設の詳細についてはマホロバ・マインズ三浦のHP <http://www.maholova-minds.com/> をご覧下さい。

**修了証** 講座に参加し、研修成果確認試験に合格した人には、日本カウンセリング学会の「修了証書」を発行いたします。

## 申し込みの手順等について

### 注意事項

- 参加申込書に必要事項をご記入の上、「第116回 日本カウンセリング学会・神奈川研修会」あてにEメール(書式は学会HP、神奈川県支部会HP、その他のHPよりダウンロード:Word形式を添付)にてお申し込み下さい。郵送、FAXでの申し込みも可能ですが、トラブル防止のため、電話での申し込みはご遠慮下さい。なお、必ずお手元にコピー(控え)を残しておいて下さい。
- ・申し込み受付順に希望講座に登録します。各講座とも定員に達し次第締切ります。
- ・申し込み期間を過ぎても定員に満たなかった場合は、申し込みを受けますのでお問い合わせ下さい。
- ・参加申し込みと同時に、参加費を郵便振替でお振り込み下さい。入金確認できた時点で、受付完了となり、受講票と参加案内をお送りします。誠に勝手ながら振込手数料は、参加者負担にてお願いします。
- ・領収書につきましては、原則振込用紙の控えをもって、替えさせていただきます。
- ・ご本人の都合による参加取り消しの場合は、納入された費用は返金しませんので、ご承知おさください。なお、代理の参加はお受けしますのでご連絡下さい。
- ・ご提出いただいた個人情報、研修会運営の目的以外には使用しません。
- ・この研修会は、日本カウンセリング学会「認定カウンセラー」の資格取得、及び更新時のポイントとして認められます。

**入金先** 口座番号 00240-7-101487  
加入者名 日本カウンセリング学会神奈川県支部会  
備考 通信欄に「第116回神奈川研修会」とご記入下さい。

**受付締切** 2015年12月10日(木)

日本カウンセリング学会のホームページ <http://www.jacs1967.jp/>

日本カウンセリング学会神奈川県支部会のホームページ <http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/58518>

# 講座概要

## コースⅠ. 家族カウンセリング 講師:水野修次郎

「Bowen理論から現代家族療法まで」 私は、アメリカのBowen Family Centerで1年間研修生をしていました。研修生の課題は、原家族からの巻き込まれから脱却して、中立を保つというものでした。スーパービジョンは、実際のカウンセリングケースを扱うよりも、研修生のそれぞれの家族との関係性を扱うほうが、臨床家としての成長が確実なことが研究によって実証されています。今回の研修は、Bowen理論の実際を1日目に扱います。複雑な理論ですが、この研修によって、正確な理解ができます。2日目には、家族システム理論を学びます。クライアントは、実は「クライアントら」という複数であり、個人と家族、個人と組織、個人と社会ということが理解できるでしょう。最終的な目標は、現在の自分がどうして、そのように行動するのか、そのような情動を感じるのか、そのような役割を演じるのかを解明することです。実際に私が受けたスーパービジョンを体験できます。



## コースⅡ. キャリアカウンセリング 講師:宮城まり子

「キャリアカウンセリングによる統合的支援」 キャリアは「仕事・働き方」など「ワーク・キャリア」から「生き方、人生の表現」つまり「ライフ・キャリア」へと概念が拡大されてきました。社会労働環境の大きな変化に柔軟に対応しながら「自分らしく働き・生きること」に困難を感じ、不安や葛藤を抱える人が増えています。キャリアカウンセリングはこうした人々(若年層から定年後)の支援を行うためのカウンセリングです。

講座ではキャリアカウンセリングとは何か、理論、アプローチ法、メンタルヘルス不調とキャリア支援などの事例研究を取り上げキャリアカウンセリングを学びます。



## コースⅢ. グリーフカウンセリング 講師:鈴木康明

「尊厳を保障するために」 グリーフカウンセリングは、悲嘆、悲哀の事情で、苦悩する人へ予防的、問題解決的にかかわる専門的援助活動です。大きくは喪失に起因するすべての悲嘆と悲哀が含まれますが、種かくは死別によるものを中心とします。人間が限りある存在である以上、この死別の悲しみは、いつでも、どこでも、誰にでも起きることでありますが、どのような対応をしたらよいのか、困惑することが多いのではないのでしょうか。

講座では、臨床心理学を基本に、死生学、悲嘆学なども援用し、心理はもちろん教育や福祉、医療にも活用できるグリーフカウンセリングを学びます。取り上げるものは、悲嘆と悲哀、遺族、自死・自殺、子どもの悲しみ、共感的理解、表現芸術療法、語り、二次的受傷、PTGなどです。



## コースⅣ. 心身医学・精神医学アセスメント 講師:飯田俊穂

「病態水準把握のためのアセスメント」 心理アセスメントの重要性。クライアントが神経症なのか、精神疾患なのか、あるいはその境界水準なのか、また心身症的なのか、正常心理反応なのかなど、病態水準の把握はカウンセラーにとって重要な関心であり、クライアントを守るためにも大切です。心身医学と精神医学の違い、ストレスとは、情動と自律神経の働き、自律神経のアンバランスなど、その原因、特徴、傾向、症状など事例を提示しながらアセスメントの対応について解説する予定です。

今回は、事例を検討する中でクライアントの病態水準を把握するための心理アセスメントについて一緒に考えてみたいと思います。認定カウンセラー資格取得者や現場で対応している方々に少しでも役立つ相互交流となればと思います。多くの方の参加をお待ちしております。



## コースⅤ. これからの支援教育 講師:青戸泰子

「これからの支援教育: パーソナル・アプローチからユニバーサル教育へ」 学校には、学習に苦戦する子、人間関係に悩む子、いじめ、不登校、非行、虐待など様々な課題を抱える子どもがいます。パーソナル・アプローチとは、「その子どもの中に何が起きているのか」「どのような支援が有効か」といった「見立てを立て、チームで支援すること」です。一方、学校は個別の支援だけでなく、すべての子ども達への開発的・予防的関わりも重要です。本講座は、「行動は、個と環境の相互作用である」といったコミュニティ心理学の視点を踏まえて、教育的ニーズのある子どもの理解と支援、および、すべての子どもを対象にした、ユニバーサル・デザインによる「授業づくり」と「人間関係づくり」について、最新研究も含めて紹介します。



## お申し込み・問い合わせ先

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川1-30-7-704

日本カウンセリング学会・神奈川研修会 鈴木康明 E-mail: y-suzuki@griefstudies.com FAX: 045-913-5989

